

25 滋賀県における循環器疾患の発症要因に関するコホート研究——滋賀県高島郡コホートのベース・ライン調査の進捗状況——

研究代表者名： 喜多義邦¹

共同研究者名： 岡村智教²、門脇 崇¹、野崎昭彦²、杉原秀樹³、森田 豊⁴、吉田道明⁵、上島弘嗣¹

施設名： 滋賀医科大学福祉保健医学講座¹、国保信楽町中央病院²、公立高島総合病院³、マキノ病院⁴、市立長浜病院⁵

目的

地域集団における脳卒中・心筋梗塞および心不全の発症状況を明らかにするとともに、これら循環器疾患の発症および死亡要因を明らかにする。また、日常生活動作能力(ADL)および痴呆に関する追跡調査を実施し、ADLの低下要因および痴呆発症の要因を明らかにする。

方法

調査対象 調査地域は滋賀県高島郡安曇川町、新旭町およびマキノ町であり、各町の2001年10月現在の人口は、安曇川町14,549名(65歳以上人口割合：22.0%)、新旭町11,268名(19.7%)、マキノ町6,308名(25.0%)である。調査対象者は上記の3町に在住し、老人保健法基本健診を受診した者とした。安曇川町における受診対象者の範囲は30歳以上の住民全員の7,769名である。新旭町の受診対象者の範囲は35～69歳までの1,900名である。安曇川町での健診は4月17日～5月8日に実施された。また、新旭町における健診は6月3日～同月12日の日程で行われる。なお、マキノ町においては、2003年度の老人保健法基本健診時にベースライン調査を実施する予定であり、現時点において、マキノ町と確約がなされている。マキノ町の基本健診受診対象者の範囲は、15歳以上の他に健診受診機会の無い者1,300名(2002年調査時)である。

調査方法と調査項目 ベースライン調査は、統合研究の標準問診と、自動血圧計(コーリン社製、BP-103iII)による血圧測定、身長・体重、心電図検査、肝機能検査、血清脂質(総コレステロール、HDLコレステロール、TG)、血糖、HbA1cを測定する。また、統合研究のプロトコルには示されていないが、本コホートにおいては、上記の測定項目に加えて、高感度CRP、BNP、フィブリノゲンを測定する予定である。さらに、インフォームド・コンセントにより同意の得られた者については、血清および血漿の-80度による保存を行い、将来の研究の発展に備えることを計画している。統合研究の標準問診票については健診時に調査員がインフォームド・コンセントを実施した後、調査の協力が得られた者に対してのみ聴取することとした。栄養および身体活動度の簡易調査について、安曇川町においては、調査協力の得られた受診者を対象に、基本健診終了1か月後に郵送法により実施する予定である。未回答者にははがきによる督促に加えて、訪問による回収を行う。また、新旭町およびマキノ町においては、受診票とともに予め栄養および身体活動度の簡易調査票を郵送し、健診会場にて点検回収する予定である。

説明と同意 調査を実施する際に、本研究の目的、同意の任意性、不利益、個人情報保護の保護、成績の公表、同意の撤回等について医師および看護師が説明し、自署をもって同意を得ることとした。

滋賀県高島郡における 循環器疾患発症登録の概要

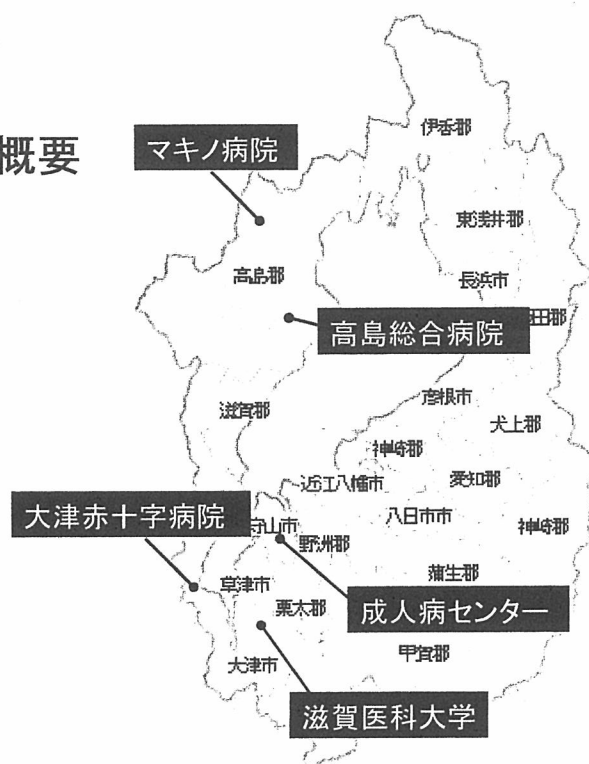
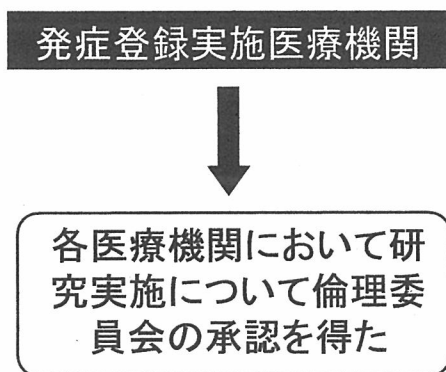


図 1

安曇川町におけるベースライン調査の実績 すでに終了した安曇川町におけるベースライン調査の実績を示す。基本健診受診者総数は 2,232 名であり、このうち、インフォームド・コンセントを実施した者は 2,217 名 (実施率 : 99.3%) であった。実施できなかった 15 名は、知的障害者および痴呆のある者であった。本コホート研究への協力については 2,050 名から同意が得られた (承諾者の割合 : 92.5%)。なお、インフォームド・コンセントには、同意の撤回が許されており、すでに 2 通の撤回書が送付されている。したがって、現時点での同意者数は 2,048 名 (92.4%) である。

エンドポイント調査 エンドポイント調査のうち循環器疾患については、1989 年から継続して実施している本研究の対象地域である高島郡全体を網羅する登録システムを用いて追跡対象者の循環器疾患の発症を把握する。本登録システムは、MONICA study の登録診断基準に基づき、1988 年から全国 6 地区で行われている発症登録研究の 1 つであり、登録の悉皆性は高い水準を保っている。循環器疾患の発症登録を実施している郡内 3 および郡外の 3 医療施設において、発症登録

表 1 安曇川町におけるベースライン調査の概要 2002 年

基本健診者数(人)	2,232
調査の説明が実施できた者(人)	2,217
実施率	99.3%
調査協力承諾者数	2,050
承諾者の割合	92.5%
調査協力拒否者数(人)	167
拒否者の割合	7.5%
ベースライン調査終了後同意を撤回した者(人)	2
調査協力承諾者数(人)	2,048
承諾者の割合	92.4%

について倫理委員会の承認を得ており、ベースライン調査終了後直ちに発症登録を実施できる環境が整っている。死亡については、高島郡を管轄する今津保健所において死亡小票の閲覧により実施し、死亡日時、死因、等を把握する。転出については、住民基本台帳の閲覧により、追跡対象者の転出日、転出先等を把握する。

まとめ

循環器疾患の発症および死亡要因を明らかにする目的で、高島郡内においてコホート研究を開始した。ベースライン調査は安曇川町および新旭町において本年度内に、またマキノ町においては次年度に実施することが確定しており、4,000名の参加を確保できる予定である。現在、他の町村においても、本研究の実施について申し入れしているところであり、将来、高島郡内全町村を対象としたコホートにすべく準備している。